

各グループの取組と課題

2) 里山グループ

代表：与茂田 正

私たち里山グループが活動しているシルバーカレッジ北側の林は、里山と呼ばれる雑木林です。主にコナラ林で覆われています。里山を保全する活動として、笹刈や蔓きりなどの作業です。林床の低木や笹が刈られ、林床が明るくなり、植物相調査をしたところ、絶滅危惧種であるハリマムシグサやムラサキなどの植物が生育していることがわかりました。

また、この林には、様々な植物・動物・野鳥・昆虫等が生育する場所となっています。

里山保全に関心のある方は、私たちと一緒に活動に参加してみませんか。



3) ケナフの会

代表 山口昭則

会員と「KSCケナフの会」の皆さんのご協力を得て、「夏休み紙すき出前教室」を計画通り終えることが出来ました。

今後の活動は、

1. 「KSCケナフの会」との「協働の更なる推進」を図ります。

2. 「会員間のコミュニケーションの更なる促進を図る」ため、「ケナフの会ニュースレター」を継続発行し、話題性のある内容になるように努めます。

3. 出前教室の内容を更に充実し、児童及び地域福祉センターの高齢の皆さんから元気をもらいます。

「ケナフの会」で楽しく元気に活動しましょう！



4) 野鳥と自然観察会

代表 堀池邦康

「しあわせの村を野鳥の楽園に」

以下の3本の柱を中心に諸活動を展開中。①会員の研修・親睦のため、毎月1回、探鳥会や自然観察会を開催。②巣箱管理・植樹管理等、野鳥保護のための活動。2018年度は巣箱43、樹木137本を管理。③自然環境保護を目的に、「しあわせの村いきもの会議」や「KSC野鳥と自然観察会」・「こうべ環境未来館」など他団体との交流や協力。しあわせの村のトコロジストを目指して活動継続。



5) 花山梅林会

代表 磯野彰夫

KSCの建学精神「再び学んで他のために」を、卒業後真面目に実践、地元の小学校の要望をキャッチ、周りの荒れた里山と通学路整備をスタート、やる気満々の若かりし会員の熱意で、神戸一の梅林を目指し、毎年6年生卒業記念植樹を経て、今や900本近い花山梅林に成長、児童の梅林観察や児童とPTAの梅採りとジュース、ジャム作りも恒例で、環境教育に貢献、地域

に呼び掛けて、寒い北区の時季をずらせた観梅会で、癒しの郷にも、花も実も楽しめ、特に最近の健康食品の優等生、梅食品、しかも全くの無農薬なので人気上昇、然るに立ち上げて早や13年、花も実

もある老後生活を楽しませてもらいましたが、さていずこも同じ高齢化問題、後を引き継いでくださる、少しでも若い人材を求めています。

“来たれ！花山梅林会へ！”

